



特別支援教育の考え方

- ◎子供たちは皆、性格、興味関心、得意なことや苦手なこと、学び方、感じ方、成長の仕方など、一人一人が違ったものをもっています。その一つ一つが世界に一つしかない大切な個性です。
- ◎大人になるまでの長い道のりで、個性と個性が絡み合い、人との関わりや集団での様々な活動の中で、学習、人間関係、生活、気持ちなどで、うまくいかなかったり、悩んだりすることがあるでしょう。
- ◎これは誰にでもあり得ることです。「今は大丈夫」と思っている、思春期でつまずくケースもあります。今はとても大変でも、やがて落ち着くケースもあります。どのように成長するか、どのようなことでつまずくかは、複雑で予測が難しいものです。
- ◎子供自身が困難を自分で乗り越えたり解決できたりすることがありますが、困り感が長く続いたり、対処が難しくなったりして、自信や意欲を著しく失ってしまうことがあります。すると、「どうせ自分はダメなんだ」と、その後の成長に大きく影響を及ぼしてしまふことがあります。
- ◎私たち周囲の大人たちが、ちょっとサポートを工夫したり、困りごとや悩みに寄り添ったりするだけでも、子供たちはやる気が高まったり、思わぬ成長を見せたりします。子供たちは皆成長しようとするエネルギーを内に秘めています。子供たちが可能性や能力、個性を大いに発揮し、自信や意欲を高めて生活や学習ができるように、成長の様子や必要に応じて、家庭、地域、学校とで連携してサポートしていくことが大切です。

特別支援教育は「うちには関係ないもの」ではなく、「特別なもの」でもなく、成長の過程にある全ての子供たちにとって必要なもので大切なことです！